武　一　中

令和５年１１月２１日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ５－１０号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

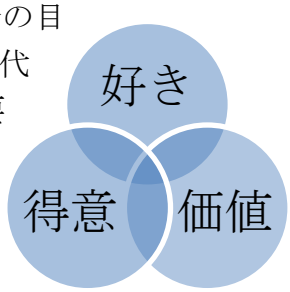
研修で学んだ社長の考え

校　長　　中嶋　建一郎

私も先生方も研修をすることが法律で定められています。研修は皆さんの勉強にあたります。時々、授業に多くの先生が来ることがあると思いますが、あれもお互いの授業を見合って、より良い授業にしていこうとしている研修のひとつです。

私は、武蔵野市の校長会の中で研修を担当しています。今回は、教育以外の分野の人を招いて、外部からの視点で教育についての考えを聞くことになりました。会社の経営者、社長さん達が集まっている経済同友会という組織にお願いしたところ、お掃除ロボットのルンバを作っているアイロボットジャパンの社長、挽野（ひきの）さんが来てくれることになりました。

その挽野社長が話してくれたことの一部を紹介したいと思います。皆さんが将来に向けて目指す方向性についてです。挽野社長は若い人には「３つの交わるところを探していこう」と話しているそうで、３つの円を示してくれました。ひとつは、「自分の好きなこと」、もうひとつは「自分の得意なこと」、そしてもうひとつが「世の中で価値のあること」。この交わるところ、重なる部分を目指すことが、自分の目標となり、これからの時代を生きていくために必要なことなのだと話してくれました。嫌いや苦手を克服するより、好きや得意を伸ばそう、そしてそれを世の中で価値のあることに役立てようと言ってくれているのだと思います。オールマイティな平均的な人より、好きや得意を極めた人に価値を見出す考え方ですが、社長という立場での発言というだけではなく、社会が求めているのかもしれないと感じました。



私は他にも、挽野社長が世界の人口の推移や言語ランキングを資料として出されていて、経営者の視点を感じました。経済活動は人口の多いところで盛んになる傾向があることや多くの人が使っている言語を学べば多くの仕事ができる可能性があることを考えているわけです。広い視野でビジネスチャンスを捉えているのだと感動しました。

そしてもうひとつ、これは挽野社長の個人的な経験からの話なのでしょうが、「挫折はなるべく早く味わうと良い」という話がありました。挽野社長は大学入試で試練、挫折を味わったようです。でもその挫折の経験が、バネとなってその後の考えや行動を大きく変えたと話しています。学校では挫折や失敗をなるべく経験させないように指導しがちです。考えさせられる話でした。

さて、大きな会社の経営者が考えていることの一部が皆さんに伝わったでしょうか。

◇◇一中生の活躍◇◇

【水泳部】多摩地区中学校秋季水泳競技大会　第２９回　FINAL MATCH 2023

○個人種目

３学年

・岡野　時光	男子１００m背泳ぎ	第４位	１’１２”８７
	男子２００m背泳ぎ	第２位	２’４０”７９
・大久保煌太	男子５０mバタフライ	第１位	３１”１９
	男子８００m自由形	第３位	１０’５２”７５
・古根　聡人	男子２００m平泳ぎ	第６位	３’０５”７７

２学年

・蒲　龍ノ介	男子５０m自由形	第４位	２９”００
・辻田　裕樹	男子５０m背泳ぎ	第３位	３７”３１

○リレー種目

・岡野、大久保、古根、蒲チーム

代表男子２００mフリーリレー	第１位	１’５４”７５
代表男子２００mメドレーリレー	第２位	２’１１”４１

○団体総合

・男子総合の部　第６位　９８点